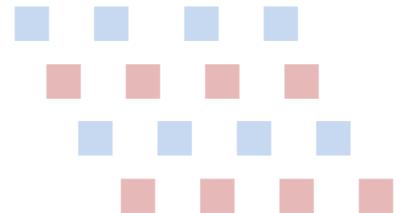
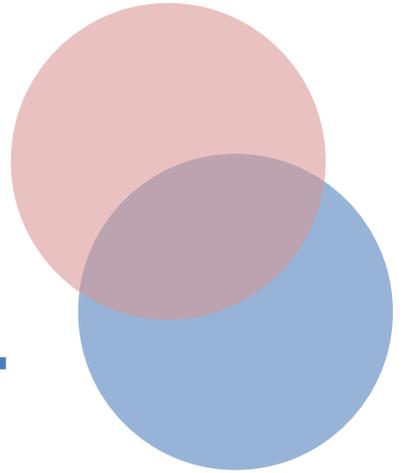


OSAKA PREFECTURAL POLICE

サイバー犯罪捜査官



大阪府警察サイバー犯罪対策課

サイバー犯罪捜査官とは

高度な情報処理技術をもって、サイバー空間における犯罪の捜査を専門的に行う警察官です。民間で培ったコンピュータやネットワーク等の専門的な知識・能力を活かして、犯罪捜査などで活動を行うサイバー犯罪捜査官を、幹部警察官として中途採用しています。

職務内容

コンピュータ・ネットワーク等の専門知識を活かしながら、犯罪捜査から検挙までを手がけます。

- ・ 通信機器や差し押さえたデータの解析
- ・ 差し押え現場における支援
- ・ サイバー犯罪被害防止のためのサイバーセキュリティ対策など

INTERVIEW

サイバー犯罪捜査官／平成25年採用
情報解析係（保有資格GCIH・GXPN等）



Q.1 担当業務を教えてください

情報解析係主任として、各種情報機器から犯罪に関連する情報の抽出・解析などを行っています。現代においては、多くの犯罪で何らかの情報機器が関わっているので、解析対象となる事案や情報機器は多岐にわたります。

Q.2 中途採用でサイバー犯罪捜査官を目指した理由は？

サイバー犯罪捜査官は、私が学生時代や前職で培った情報処理技術を活かして世の中に貢献できる職種だと考えました。高度な情報通信技術が市民生活に浸透するにつれて生活も便利なものになっていますが、同時に犯罪にもこれらの技術が悪用されるようになっていきます。犯罪捜査のため、最先端の技術が求められるこの職業は常に技術の向上を求められます。もともと技術を突き詰めていきたいと考えていた私にとっては、そのような技術の研鑽をもって犯罪捜査・抑止に役立てることができる職業が理想であると考えていたので、サイバー犯罪捜査官を目指しました。

Q.3 採用後の警察学校入校は厳しかったですか

一般採用の警察官と比べ、警察学校の入校期間は約1ヶ月と短かったです。警察官が経験する教育の一端を垣間見ることができました。警察官という職業は厳しい環境に身を置かなければならない状況もあるので、そのことを考えると精神と肉体を鍛錬するために必要となる教育であったのではないかと感じました。

Q.4 実際に働いてみてどうでしたか

転職する際、企業風土の違いに戸惑うことはよくあることなのでしょうが、同業種間の転職と比べて、文化の違いに戸惑うところが大きいのではないかと思います。

様々な犯罪に情報通信技術が活用されている現状において、高度な技術は多くの場面で頼りにされます。自分の技術を生かして社会貢献ができる理想としていた職場であると感じています。

Q.5 主な取扱いについて教えてください

各種サーバに保存されていたデータを用いて、サーバを再構築し、犯罪の状況を再現したり、大量のログの解析を行うなど、様々な取扱いをしています。他に、事案によってはマルウェアの解析なども必要になってきますし、パソコンに残る様々な痕跡の抽出・分析なども行います。

Q.6 サイバー犯罪捜査官のやり甲斐について感じることを教えてください。

高度な情報処理技術を駆使して、犯罪捜査に貢献するところにやり甲斐を感じます。常に最新の動向に合わせて、使用する技術や手順などを更新していく必要があるのですが、技術面で貢献したいと考える人にとっては、そのような常に最新の技術に触れる必要がある環境は、やり甲斐を感じる職場ではないかと思っています。

サイバー犯罪捜査官を目指している方は、程度の差はあれ、技術的な面で自信があり、その技術で貢献したいと考えていると思います。必要となる基礎技術は一般で利用されている技術と同じですが、犯罪捜査で必要となる技術はものづくりの技術とは異なる分野となり、より高度な技術を求められます。サイバー犯罪捜査官として採用されるということはゴールではなく、スタートと考え、絶え間ない技術の研鑽が必要であると考えていただきたいです。技術面で頼りにされる立場になりますので、誤った判断が組織自体を誤った方向へ導くこともあり、大きな責任を伴うことを意識してもらいたいです。組織の技術面を背負って立つ立場ですので、その分、自分の技術が社会貢献できているという実感が伴い、とてもやり甲斐を感じる職場だと思います。

受験資格

1. 選考実施年度の3月31日現在の年齢が25歳以上40歳以下の者
2. 採用予定日において、情報処理に関する業務に従事した期間を通算した経歴を2年以上有し、かつ次のいずれかの試験に合格していること。
 - ・ 応用情報技術者
 - ・ システム監査技術者
 - ・ エンベデッドシステムスペシャリスト
 - ・ ネットワークスペシャリスト
 - ・ ITサービスマネージャ
 - ・ ITストラテジスト
 - ・ システムアーキテクト
 - ・ プロジェクトマネージャ
 - ・ データベーススペシャリスト
 - ・ 情報処理安全確保支援士
 - ・ 技術士(情報工学部門)
 - ・ 上記資格と同等以上の能力を有すると人事委員会が認める試験に合格している者



給与について(令和3年4月1日現在の情報)

初任給は、経歴その他に応じて決定されます。

次のモデルケースは、大学卒業者における、おおよその給与月額(地域手当含む)です。

大学卒業後、職歴3年		大学卒業後、職歴10年	
初任給(26歳) 巡査部長	288,779円	初任給(33歳) 巡査部長	343,002円
5年後(31歳) 巡査部長	323,661円	5年後(38歳) 巡査部長	380,343円
10年後(36歳) 警部補昇任	386,157円	10年後(43歳) 警部補昇任	439,709円
大学卒業後、職歴16年		その他の手当 特殊勤務手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、期末・勤勉手当、扶養手当、住居手当、通勤手当等がそれぞれに条件に応じ、支給されます。 ※ 給与については、大阪府人事委員会の勧告等に基づいて、改定が行われることがあります。	
初任給(39歳) 巡査部長	389,287円		
5年後(44歳) 巡査部長	418,914円		
10年後(49歳) 警部補昇任	451,783円		

《サイバー犯罪捜査官採用に関するお問い合わせ》

大阪府警察本部 警務部警務課 人事総括第一係

〒540-8540 大阪府中央区大手前三丁目1番11号

TEL 06-6943-1234 内線26161

午前9時から午後5時45分まで(土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く)

<https://www.police.pref.osaka.lg.jp/>

《お問い合わせ先》

大阪府警察本部 サイバー犯罪対策課

〒540-8540 大阪府中央区大手前三丁目1番11号

TEL 06-6943-1234 内線34923

午前9時から午後5時45分まで(土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く)



大阪府警察
サイバー犯罪対策課